

## CSW65 イベントの内容と感想

### 「Speak Up. Amplify Our Voices!」

今回開催された CSW65 では、完全にオンライン開催ということもあり、事前登録さえすればどのイベントでも簡単に参加できる非常にアクセスの良いものでした。私は、自分の興味関心である「女性の政治参加」「フェミニスト運動」「セックスワーカーの権利」「新型コロナウイルスによる女性への影響」といったところをキーワードに、それらに関わるイベントに参加しました。

これらのイベントに参加し私が気づいたことというのは、話題にしているトピックは違うとはいえ、そこで触れられる重要な論点や事項は共通しているということです。例えば、どのイベントでも触れられていたのは、「連帯」、つまり国内外の団体と横の繋がりでした。横との繋がりを広げていくことによって、自分たちが行っている団体の活動も広がり、またお互いにインスピレーションやエンパワーメントを受けていく（またそのような経験がある）ということ、多くのイベントの登壇者が指摘していることに気が付きました。

また、どのイベントでも指摘されていたのが、法律改正の重要性でした。女性を含めたいわゆる脆弱な人達に注がれる差別の眼差しを変えるためには、家父長的で男尊女卑的な事項が含まれる現存の法律の改姓が必要であることが多くの登壇者によって指摘されていました。

この CAW65 は本当に様々な国出身の人達がスピーカーとして、私のような参加者として参加しています。興味深いと感じたのは、「ジェンダー平等」とひとえにいても、当然その話者たちの考えや出身国の文化で様々な解釈や捉え方があることでした。例えば、イスラーム教圏出身の方や、キリスト教圏出身の方では同じ「ジェンダー平等」について話をしている、それをどう解釈しているかはやはり異なっていました。個人的にそれがとても興味深いと感じました。

少し話は変わりますが、今回のイベントへの参加を通して、素敵な出会い（出会いというよりかは、私が一方的に相手を知っただけなのですが）があったことをここに書き記しておきたいと思います。それは、セックスワーカーの権利に関するイベントでの、モデレーターとの出会いでした。彼女は今回参加した CSW65 のイベントの中で最も素晴らしいモデレーターだったと思います。彼女は、イベントが始まる最初に「このイベントでは、人種、性的志向、宗教、ジェンダー、障がいの有無（…）といった点での全ての差別を決して許しません。そのような発言が見受けられた瞬間に、私たちはその人をこのスペースから追い出します。このスペースは、絶対に安全な場所です。」とはっきりと宣言したのです。このように、スペースの安全性の確保を明言したイベントに参加したのはこれが私の人生で初めてでした。また、彼女は 1 人 1 人のスピーカーへの発言の機会を与えるのが非常にうまく、タイムキープも非常に上手でした。そして、1 人 1 人のスピーカーへ柔和な笑顔で対応していく姿は非常に素敵でした。心の底から、私もこのような人になりたいと思いました。